

日本評価学会春季第15回全国大会 「評価における公共データとエビデンスの活用」

"Application of Public Data and Evidence in Evaluation"

大会日程

2018年5月26日（土）

2018/4/13

09 : 30-10 : 00	受 付		
午前の部 10 : 00-12 : 00	<p>< 共通論題1 ></p> <p>評価とマネジメントをめぐる「学」と実務の協調</p> <p>(山谷清志) Rm600</p>	<p>< 共通論題2 ></p> <p>国際機関によるSDGsへの取り組みの現状と課題</p> <p>(廣野良吉) Rm201AB</p>	<p>< 自由論題1 ></p> <p>評価手法</p> <p>(源由理子) Rm202AB</p>
お昼休み 12 : 00-13 : 15	お昼休み (12:05~13:00 理事会)		
午後の部I 13 : 15-15 : 15	<p>< 共通論題3 ></p> <p>SDGs評価：「未来の世代に、素晴らしい世界を」</p> <p>(佐々木亮) Rm600</p>	<p>< 共通論題4 ></p> <p>データ活用とEBPMの評価—評価につなげるEBPMの進め方</p> <p>(正木朋也) Rm201AB</p>	<p>< 自由論題2 ></p> <p>自治体評価</p> <p>(田中啓) Rm202AB</p>
午後の部II 15 : 30-17 : 30	<p>< 共通論題5 ></p> <p>政策レベルのODA評価</p> <p>(上野宏) Rm600</p>	<p>< 共通論題6 ></p> <p>評価の“利用”と“影響”を考える</p> <p>(田辺智子) Rm201AB</p>	<p>< 自由論題3 ></p> <p>教育評価</p> <p>(佐藤由利子) Rm202AB</p>

() は座長です。

自由論題報告の時間は原則として、発表20分、質疑8分、交替2分（計30分）です。

【大会参加費】

学会員	1,000円
准会員	2,000円
非会員一般	3,000円
非会員学生	2,000円

発表会場：Rm. 600, Rm. 201AB, Rm. 202AB

大会本部：Rm. 602

休憩室：Rm. 601

**日本評価学会春季第15回全国大会「評価における公共データとエビデンスの活用」
プログラム詳細**

2018/4/13

2018年5月26日 (土) 受付 09:30-10:00			
2018年5月26日 (土) 午前の部 10:00-12:00			
共通論題1 評価とマネジメントをめぐる「学」と実務の協調			Rm600
		座長 山谷清志 討論者 箕浦龍一 砂山裕	同志社大学 総務省 総務省
K1-1	行政体系における評価とマネジメントの相剋	山谷清志	同志社大学
K1-2	政策評価と独立行政法人評価の根源的課題	南島和久	新潟大学
K1-3	日本の科学技術行政における評価体制の問題	橋本圭多	神戸学院大学
K1-4	科学技術政策・行政におけるアカウンタビリティの混迷	山谷清秀	浜松学院大学
共通論題2 国際機関によるSDGsへの取り組みの現状と課題			Rm201AB
		座長/司会 廣野良吉	成蹊大学
K2-1	SDGsへの取り組みと課題	松尾隆	アジア開発銀行
K2-2	SDGsへの取り組みと課題	近藤哲生	国連開発計画
K2-3	SDGsへの取り組みと課題	(調整中)	国連環境計画(調整中)
K2-4	SDGsへの取り組みと課題	木村泰政	国連児童基金
K2-5	SDGsへの取り組みと課題	田口晶子	国際労働機関
自由論題1 評価手法			Rm202AB
		座長 源由理子	明治大学
J1-1	SDGs投資におけるデータ整備に関する考察	○ 加藤郁夫 ラウシンイー 内田綾 氏川恵次	横浜国立大学 麗澤大学 中央大学 横浜国立大学
J1-2	相互依存型の官民ネットワークにおける「業績情報」を活用したガバナンス・階層性や主体間相互の信用(Trust)状況に応じたガバナンスの仕組み	○ 荒川潤 玉村雅敏	慶應義塾大学(博士課程)/愛知県庁 慶應義塾大学
J1-3	自立相談支援事業(生活困窮者自立支援制度)における事業評価ガイドラインの開発;セオリー評価・プロセス評価に注目して	○ 新藤健太 源由理子 鴨崎貴泰 大澤香織	群馬医療福祉大学 明治大学 日本ファンドレイジング協会 (公財)トヨタ財団
J1-4	国際標準ISO37153(都市インフラ評価・改善方式)の評価方式の活用について	○ 市村富保 山田勇 衛文	富士通(株) 富士通(株) 富士通(株)
2018年5月26日 (土) お昼休み 12:00-13:15 (12:05~13:00 理事会)			
2018年5月26日 (土) 午後の部I 13:15-15:15			
共通論題3 SDGs評価:「未来の世代に、素晴らしい世界を」			Rm600
		座長 佐々木亮	国際開発センター
K3-1	CSR・CSV事業のインパクト評価とSDGs	三井久明	国際開発センター
K3-2	国レベルのSDGs実施・モニタリング評価行動計画策定の進捗:インドネシアを事例として	石田洋子	広島大学
K3-3	SDGs達成による企業価値に与える影響評価に関する考察	加藤るい子	国際開発センター
K3-4	評価論理から見たSDGs	佐々木亮	国際開発センター
共通論題4 データ活用とEBPMの評価—評価につなげるEBPMの進め方			Rm201AB
		座長 正木朋也	国際協力機構/北里大学
K4-1	(仮題) いろいろな分野のエビデンス — 歴史と概論	津谷喜一郎	東京有明医療大学
K4-2	政策評価につながるエビデンス集積	津富宏	静岡県立大学
K4-3	(仮題) 国際協力の現場で培ったエビデンス — 理論と実践	青柳恵太郎	(株)トリクスワークコンサルタンツ/ 国際協力機構
K4-4	(調整中)	大槻大輔	総務省
自由論題2 自治体評価			Rm202AB
		座長 田中啓	静岡文化芸術大学
J2-1	自治体職員の評価に対するイメージ	池田葉月	京都府立大学(博士課程)
J2-2	地方自治体の行政評価とファシリテーション	窪田好男	京都府立大学
J2-3	議事機関による評価活動の事例研究	本田正美	東京工業大学

共通論題5 政策レベルのODA評価		座長 上野宏 討論者 廣野良吉 討論者 湊直信		国際開発センター 成蹊大学 国際大学	Rm600
K5-1	南部回廊を中心としたメコン地域の連結性の評価 (*が発表者)	湊直信	国際大学		
		藤村学	青山学院大学		
		小松原庸子*	国際開発センター		
		川原恵樹	国際開発センター		
		藪田みちる	国際開発センター		
		菊池美帆子	国際開発センター		
K5-2	JICAボランティア事業の評価 (*が発表者)	廣野良吉	成蹊大学		
		藤掛洋子	横浜国立大学		
		西野俊浩*	国際開発センター		
		佐々木亮	国際開発センター		
		山田恭稔	国際開発ソリューションズ		
		大津璃紗	国際開発センター		
K5-3	その他報告事項	(調整中)	(調整中)		
共通論題6 評価の“利用”と“影響”を考える		座長 田辺智子		国立国会図書館	Rm201AB
K6-1	『評価の利用・影響』に関する理論・実証研究の概説	益田直子	拓殖大学		
K6-2	公共図書館における評価利用・影響の実証分析	田辺智子	国立国会図書館		
K6-3	(仮題)自治体における評価の利用	田中啓	静岡文化芸術大学		
自由論題3 教育評価		座長 佐藤由利子		東京工業大学	Rm202AB
J3-1	学校評価関連研修講座におけるBrainwritingの活用法ー 評価士養成講座や公的研修講座での実践からの報告ー	橋本昭彦	国立教育政策研究所		
J3-2	ミャンマーにおけるNESPのアウトカム評価	○ 傘田博光	国際開発センター		
J3-3	高等教育の民間的手法とは何か ～2つのPDCA～	○ 田中弥生	大学改革支援・学位授与機構		
		飯間敏弘	大学改革支援・学位授与機構		
J3-4	体験学習の課題と可能性ー中学校での評価から	石田健一			

○印は、共同研究の代表者